

2013年5月31日

## 1. モロッコでの第三国研修

モロッコにおける第三国研修は2012年から2015年にかけて、合計4回計画されています。2回目の2013年4月での研修ではラバトを拠点に ONEE から様々なテーマに関する研修を受けるとともに、フェズで実施された日本の有償資金協力による浄水・給水施設の視察を行いました。研修期間は移動日を含め2013年4月6日から4月14日までです。今回 ONEE はアラビア語による初めての本格的な研修を実施しました。4月9日の午後には中東欧州部の肥沼部長の研修視察があり、肥沼部長はモロッコとスーダンの南南協力の重要性を参加者にアピールしました。

第2回のモロッコでの第三国研修には水供給人材育成プロジェクトから8名、ダルフル及び暫定統治三地域人材育成プロジェクトから6名、日本人専門家2名及び JICA スーダン事務所より1名が参加しました。



## 2. モロッコ第三国研修の帰国報告会

2013年4月29日にモロッコ第三国研修の成果を目的とする帰国報告会が DWST で開催されました。この報告会には研修生全員の参加が義務づけられていましたが、ナイル州と北コルドファン州の2名は自己都合と治安の悪化で参加を辞退しました。

報告会はエティダルセンター長の挨拶、上村専門家の第三国研修の目的の説明、各研修生のプレゼンテーション、討論、活動計画の順に進められました。また、研修生のプレゼンテーションは15分とし、各テーマについて発表しました。特にハルツーム州水公社から参加した水質担当の女性職員の発表は非常に優れた内容だったためこれを評価し、この女性職員には最優秀プレゼンテーション賞が授与されました。



### 3. 第4回 JCC の開催

第4回の JCC は4月30日に DWST で開催されました。この会合には39名の参加があり、参加した州は12州に及んでおりこの中には分離独立してから間もない東ダルフールと中央ダルフールも含まれています。日本側の参加者としては日本大使館の折笠次席、森 JICA スーダン事務所長、加藤企画調査員、上村、山本、佐々木の各専門家が参加しました。ただし、今回の JCC には国際機関や他のドナー関係者の参加はありませんでした。

これまでに開催された JCC においては、プロジェクトの活動成果を全て専門家が発表してきました。しかしながら、今回の JCC より専門家は全体的な課題のみを発表し、それ以外の具体的な活動は DWST、パイロット2州の研修センター長が担当しました。

		
森所長のスピーチ	討議風景	協議内容の取りまとめ

### 4. 田中理事長の研修センター訪問

田中理事長と畝理事長室長は4月25日に DWST のキロテン研修センターを訪問しました。この視察には JICA スーダン事務所から森所長と加藤企画調査員も同行しています。研修センターの視察は1時間以内の短い滞在ではありましたが、上村専門家によるプレゼンテーション、研修センターの施設と機材の説明及びエアリーフティングのデモンストレーションが実施され、また、田中理事長は研修センターの訪問を記念してゴムの木を植樹しました。

		
プロジェクトの説明	訪問記念の植樹	集合写真

### 5. 浄水場維持管理研修

4月21日から25日にかけて、センナール州研修センターにおいては、第1回浄水場維持管理研修が実施されました。研修生は、ゲジーラ州からの招待生1名を含む12名です。本研修の実施にあたっては、今後の研修運営の参考とするため、白ナイル州浄水場維持管理研

修を担当しているカウンターパート1名が全日程出席しました。

研修生の評価は全体的に高かったものの、今後の改善点として研修期間の不足が多く挙げられた他、研修内容として、「浄水場設計実習」「既存浄水場の問題点分析」を求める意見がありました。カウンターパートの研修運営は積極的であったものの、テキスト準備等が遅れ気味であったため、自主的な準備スケジュールの管理が今後の課題であると考えられます。

		
事前の協議	浄水場での研修	集合写真

## 6. 管網管理研修

4月7日から11日にかけて、センナール州研修センターにおいて第1回管網管理研修が実施されました。研修生は、各ロカリティから全9名が参加、また、本研修の実施にあたっては、今後の研修運営の参考とするため、白ナイル州で管網管理研修を担当しているカウンターパートおよびアシスタントの2名が3日目に視察を行いました。本研修は第1回であることから、研修内容は基礎知識の習得を中心としたものでしたが、講師がプロジェクターを使用した講義方法に習熟しておらず、テキストを読み上げ、意見交換する形式で講義が進められました。

		
研修風景	理解度試験の様子	集合写真

## 7. コミュニティ啓発研修（佐々木専門家担当）

専門家とカウンターパートとの協議の結果、1回目の研修は、各ロカリティ事務所の所長クラスを対象として、「住民参加」「衛生啓発」に関する講義を実施することとしました。また、次年度に実地研修として、「衛生啓発」「Water Yardの環境改善」に関するデモンストレーションを行う予定にしています。

今回の研修では幹部クラスを対象としましたが、実際に啓発活動を実施するのは一般職

員となり、これらの職員に対する研修も必要となります。今回は実験的にセナール州では幹部クラス、白ナイル州では会計担当者を研修対象者として選定しましたが、今後は両者の効果を比較しつつ、次年度以降の活動を実施する予定です。

		
CP との協議	研修の様子	衛生啓発活動実演の様子

(略語説明)

ONEE : National Drinking Water and Electricity Corporation in Morocco (モロッコ国営電力・水道公社)

DWST : Drinking Water and Sanitation Unit Training Center (飲料水・衛生局研修センター)

JCC : Joint Coordination Committee (合同調整委員会)